

ベートーヴェン・ピアノソナタにおけるテンポについて

A Consideration of the Tempo of the Piano Sonata composed by Beethoven

柳 沢 信 芳

Nobuyoshi YANAGISAWA

(平成8年10月7日受理)

I. はじめに

演奏者はある楽曲に対して、演奏のテンポをどのように設定しているのでしょうか。

本論ではテンポについての考察をまじえながら、ベートーヴェンのピアノソナタを取り上げて、いろいろな演奏家のテンポを調べながら、①その曲にふさわしいテンポとはどのようなものなのか、②テンポの許容範囲はどれくらいなのか、③曲想とテンポの関係、などについて研究し、叙述してみたいと思う。

II. テンポについて

テンポの意味は、音楽では速度を示す言葉として使われているが、本来は無限で永続的な時、時間、ということである。歴史をさかのぼってみると、テンポと音楽の間に関連性が認められはじめたのは17世紀以後のことである。

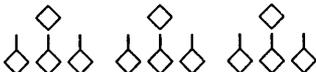
それ以前には、定量記譜法とよばれる音価を示す記譜組織があった。1250年頃から1600年頃まで使われていたものである。初期の13世紀の頃は次のようなものであった。^(註1)

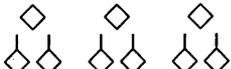
マクシマ maxma  = 2個のロンガ 
 ロンガ longa  = 3個のブレイヴィス 
 ブレイヴィス breve(brevis)  = 3個のセミブレイヴィス 

この4種類が使われていた。それが16世紀になると黒色音符が白色音符にかわり、次のようになった。

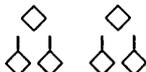
- 完全拍子 Tempus perfectum : ○は  = を示す。
 (ブレイヴィス1個はセミブレイヴィス3個と同じ)
- 不完全拍子 Tempus imperfectum : C は  = を示す。
 (ブレイヴィス1個はセミブレイヴィス2個と同じ)
- 大プロラティオ Prolatio major : ●は  = を示す。
 (セミブレイヴィス1個はミニム3個と同じ)
- 小プロラティオ Prolatio minor : 点なしは  = を示す。
 (セミブレイヴィス1個はミニム2個と同じ)

更に *Tempus* と *Prolatio* が結合して次の様になった。

(1) ● は、□ =  を示す。(現代の9/8拍子と同じ)

(2) ○ は、□ =  を示す。(現代の3/4拍子と同じ)

(3) ◐ は、□ =  を示す。(現代の6/8拍子と同じ)

(4) C は、□ =  を示す。(現代の4/4拍子と同じ)

この中で(4)の C は現在でも 4/4 拍子の意味で使われている。

この時代には上記のように音価の対比は明確になされているが、それは、あくまでも相対的な尺度としてのものであって、個々の音価の長さを示す基準となるものはみられない。

テンポに対する関心が高まってきたのは17世紀のバロック時代に入ってからである。この時代は器楽が独立した音楽芸術の領域を築くようになり、それまで中心であった声楽と同等になってきた。又、それまでの定量記法と、鍵盤楽器のために用いられていた譜法(タブラチュア)が混合されて、現代の記譜法が成立したのもこの時期である。

イタリアではC. モンテヴェルディ、A. ヴィヴァルディ、フランスではJ. B. リュリイ、F. クープラン、J. P. ラモー、イギリスではH. パーセル、ドイツではJ. H. シャイン、H. シュッツに始まりJ. S. バッハ、G. F. ヘンデルらの偉大な作曲家たちが排出されたのをみても音楽芸術がいかに隆盛したかを知ることができる。

クヴァンツ(1697~1773)は彼の著書、フルート奏法試論の中で「ずっと以前からテンポの一致に役立つ方法を求める努力がなされてきた。」^(註2)と述べ、当時あったクロノメーター(測時器)について「おそらくこの機械はいつも一人で持ち歩くわけにはいかなかったろうし、私の知る限り殆ど誰も使わない位に完全に忘れ去られてしまったという事実からして、その妥当性と有用性に関して疑いの念が生ずるのである。」^(註3)と述べているように当時の作曲家たちはこの種の機械を信頼していなかったようである。つづいて「私がテンポの規準として最も役に立つと思う方法は、いつも持って歩ける程に持ちやすく、苦勞なしに使えるもの程よい。それは、健康な人間の手の脈拍である。」^(註4)と述べて、次のように脈拍とテンポの関係を示している。^(註5)

一般的偶数拍子の場合(4分の4拍子)

Allgro assai の時は一脈拍の間に半小節

Allegretto の時は一脈拍の間に4分音符一個

Adagio cantabile の時は一脈拍の間に8分音符一個

Adagio assai の時は二脈拍の間に8分音符一個

アラ・ブレーヴェの場合(2分の2拍子)

Allgro の時は一脈拍の間に1小節

Allegretto の時は一脈拍の間に半小節

Adagio cantabile の時は一脈拍の間に4分音符一個

Adagio assai の時は二脈拍の間に4分音符一個

このようなテンポ感について、彼は「これはあくまでも色々な種類のテンポを自分で認識すること、そして更に研究をすすめることのために示したものであり、練習をしているうちにテンポの観念が身につけてしまつたら常に脈拍を利用する必要はないだろう。」^(註6)と述べている。

Ⅲ. ベートーヴェンのテンポについての考察

1816年にウィーンの宮廷付機械技術者 J. N. メルツェルはメトロノームの特許の申請をした。ベートーヴェンとチェルニーは初めて作曲の速度指示にこのメトロノーム記号を用いている。しかし、メトロノームを好んで使用していたベートーヴェンも次のように言っていた。「全くくだらん道具だ。テンポは、自分で感ずるものじゃないか。こんなもの悪魔にくれてしまえ。」^(註7)と。このことは先に述べたクヴァンツの考え方と類似しているところである。

表1は全ソナタの各楽章について、著名な演奏家のメトロノーム記号を調べて羅列したものである。チェルニーのメトロノーム記号は「ベートーヴェン・全ピアノ作品の正しい奏法」^(註8)を基にした。それが年月を隔てて再考された後、ジムロック出版社から出されたものがジムロック記号であるが、前者との間に違いがみられるので考察の対象とした。なお、ビューローの資料も手元にあるが、これはラモンド版とほとんど同じなので省略した。また、数値に幅のあるものはその中間値をとった。

この表を基に次のことについて考察してみたいと思う。

①各楽章におけるメトロノーム記号の速度差について

②Allegro.Adagio等の速度標語や発想記号とメトロノーム記号の関連性について

① 各楽章におけるメトロノーム記号の速度差について

表1の速度差の欄に記したものがそれである。この中から速度差の大きい順に10位まで羅列してみる。(速度差は各楽章のメトロノーム記号の大きいものから小さいものを引いた数値である。なお、作品2-3の第1楽章のように、基準となる音価が複数の場合は数の多いほうの音価に換算して数値を出した。)

作品79の第3楽章、作品26の第4楽章、作品49-1の第2楽章、作品90の第1楽章、作品14-2の第2楽章、作品31-3の第1楽章、作品54の第2楽章、作品10-3の第1、第3楽章、作品2-2の第4楽章、作品14-2の第1楽章、作品22の第2楽章、作品110の第2楽章、となる。

この中で、速度標語の数を調べると、Allegro が6つで最も多く、Vivace, Presto, Allegretto, Andante, Adagio が1つずつ含まれている。

次に、速度差の小さいものから10位まで羅列してみる。

作品106の第3、第4楽章、作品111の第1楽章、作品13の第2楽章、作品27-1の第1楽章、作品81aの第2楽章、作品109の第1楽章、作品10-1の第2楽章、作品27-1の第3、第4楽章、作品110の第3楽章である。

表 1 各演奏家におけるテンポの比較

作品番号	楽章	速度標語	調性	拍子	速度差	チエルニー	シムロツク	ラモンド	シュナーベル	アラウ
2-1	1	Allegro	f:	C	28	$\text{♩}=104$	$\text{♩}=108$	$\text{♩}=112$	$\text{♩}=132$	$\text{♩}=126$
	2	Adagio	F:	$\frac{3}{4}$	8	$\text{♩}=80$	$\text{♩}=84$	$\text{♩}=82$	$\text{♩}=88$	$\text{♩}=80$
	3	Allegretto	f:	$\frac{3}{4}$	11	$\text{♩}=69$	$\text{♩}=72$	$\text{♩}=60$	$\text{♩}=58$	$\text{♩}=69$
	4	Prestissimo	f:	C	12	$\text{♩}=104$	$\text{♩}=108$	$\text{♩}=106$	$\text{♩}=116$	$\text{♩}=112$
2-2	1	Allegro vivace	A:	$\frac{2}{4}$	26	$\text{♩}=132$	$\text{♩}=138$	$\text{♩}=126$	$\text{♩}=152$	$\text{♩}=126$
	2	Largo appassionato	D:	$\frac{3}{4}$	19	$\text{♩}=80$	$\text{♩}=88$	$\text{♩}=44$	$\text{♩}=69$	$\text{♩}=76$
	3	Allegretto	A:	$\frac{3}{4}$	14	$\text{♩}=63$	$\text{♩}=66$	$\text{♩}=52$	$\text{♩}=56$	$\text{♩}=60$
	4	Grazioso	A:	C	32	$\text{♩}=132$	$\text{♩}=144$	$\text{♩}=112$	$\text{♩}=132$	$\text{♩}=116$
2-3	1	Allegro con brio	C:	C	28	$\text{♩}=80$	$\text{♩}=80$	$\text{♩}=132$	$\text{♩}=152$	$\text{♩}=144$
	2	Adagio	E:	$\frac{2}{4}$	10	$\text{♩}=50$	$\text{♩}=56$	$\text{♩}=48$	$\text{♩}=46$	$\text{♩}=50$
	3	Allegro	C:	$\frac{3}{4}$	28	$\text{♩}=80$	$\text{♩}=76$	$\text{♩}=76$	$\text{♩}=104$	$\text{♩}=84$
	4	Allegro assai	C:	$\frac{6}{8}$	10	$\text{♩}=116$	$\text{♩}=116$	$\text{♩}=116$	$\text{♩}=126$	$\text{♩}=120$
7	1	Allegro molto e con brio	Es:	$\frac{3}{4}$	16	$\text{♩}=116$	$\text{♩}=126$	$\text{♩}=126$	$\text{♩}=132$	$\text{♩}=132$
	2	Largo con gran espressione	C:	$\frac{6}{8}$	20	$\text{♩}=80$	$\text{♩}=84$	$\text{♩}=48$	$\text{♩}=76$	$\text{♩}=76$
	3	Allegro	Es:	$\frac{3}{4}$	15	$\text{♩}=72$	$\text{♩}=80$	$\text{♩}=84$	$\text{♩}=69$	$\text{♩}=72$
	4	Poco Allegretto e grazioso	Es:	$\frac{2}{4}$	11	$\text{♩}=60$	$\text{♩}=132$	$\text{♩}=60$	$\text{♩}=69$	$\text{♩}=58$
10-1	1	Allegro molto e con brio	c:	$\frac{3}{4}$	13	$\text{♩}=72$	$\text{♩}=76$	$\text{♩}=69$	$\text{♩}=82$	$\text{♩}=72$
	2	Adagio molto	As:	$\frac{2}{4}$	9	$\text{♩}=69$	$\text{♩}=72$	$\text{♩}=63$	$\text{♩}=63$	$\text{♩}=63$

作品番号	楽章	速度標語	調性	拍子	速度差	チェルニ	ツムロツク	ラモント	シュナーベル	アラウ
	3	Prestissimo	c:	♩	16	$\text{♩}=96$	$\text{♩}=100$	$\text{♩}=92$	$\text{♩}=108$	$\text{♩}=96$
10-2	1	Allegro	F:	$\frac{2}{4}$	16	$\text{♩}=104$	$\text{♩}=108$	$\text{♩}=96$	$\text{♩}=104$	$\text{♩}=112$
	2	Allegretto	f:	$\frac{3}{4}$	13	$\text{♩}=72$	$\text{♩}=76$	$\text{♩}=69$	$\text{♩}=66$	$\text{♩}=63$
	3	Presto	F:	$\frac{2}{4}$	8	$\text{♩}=80$	$\text{♩}=160$	$\text{♩}=172$	$\text{♩}=88$	$\text{♩}=80$
10-3	1	Presto	D:	♩	34	$\text{♩}=126$	$\text{♩}=132$	$\text{♩}=144$	$\text{♩}=160$	$\text{♩}=160$
	2	Largo e mesto	d:	$\frac{6}{8}$	18	$\text{♩}=72$	$\text{♩}=76$	$\text{♩}=60$	$\text{♩}=63$	$\text{♩}=58$
	3	Allegro	D:	$\frac{3}{4}$	33	$\text{♩}=76$	$\text{♩}=84$	$\text{♩}=63$	$\text{♩}=96$	$\text{♩}=72$
	4	Allegro	D:	♩	10	$\text{♩}=142$	$\text{♩}=152$	$\text{♩}=144$	$\text{♩}=144$	$\text{♩}=152$
13	1	Grave	c:	♩	17	$\text{♩}=92$	$\text{♩}=63$	$\text{♩}=60$	$\text{♩}=52$	$\text{♩}=96$
		Allegro di molto	c:	♩	28	$\text{♩}=144$	$\text{♩}=144$	$\text{♩}=144$	$\text{♩}=172$	$\text{♩}=152$
	2	Adagio cantabile	As:	$\frac{2}{4}$	6	$\text{♩}=54$	$\text{♩}=60$	$\text{♩}=60$	$\text{♩}=60$	$\text{♩}=60$
	3	Allegro	c:	♩	12	$\text{♩}=96$	$\text{♩}=104$	$\text{♩}=96$	$\text{♩}=108$	$\text{♩}=100$
14-1	1	Allegro	E:	♩	18	$\text{♩}=132$	$\text{♩}=144$	$\text{♩}=141$	$\text{♩}=126$	$\text{♩}=132$
	2	Allegretto	e:	$\frac{3}{4}$	22	$\text{♩}=69$	$\text{♩}=72$	$\text{♩}=69$	$\text{♩}=50$	$\text{♩}=58$
	3	Allegro comodo	E:	♩	16	$\text{♩}=96$	$\text{♩}=96$	$\text{♩}=80$	$\text{♩}=80$	$\text{♩}=84$
14-2	1	Allegro	G:	$\frac{2}{4}$	32	$\text{♩}=80$	$\text{♩}=160$	$\text{♩}=72$	$\text{♩}=104$	$\text{♩}=72$
	2	Andante	C:	♩	44	$\text{♩}=116$	$\text{♩}=112$	$\text{♩}=92$	$\text{♩}=72$	$\text{♩}=80$
	3	Allegro assai	G:	$\frac{3}{8}$	12	$\text{♩}=80$	$\text{♩}=88$	$\text{♩}=76$	$\text{♩}=88$	$\text{♩}=76$

作品番号	楽章	速度標語	調性	拍子	速度差	チェルニー	ツムロツク	ラモント	シュナーベル	アラウ
22	1	Allegro con brio	B:	C	16	$\text{♩}=76$	$\text{♩}=84$	$\text{♩}=152$	$\text{♩}=164$	$\text{♩}=152$
	2	Adagio con molta esp.	Es:	$\frac{9}{8}$	32	$\text{♩}=100$	$\text{♩}=116$	$\text{♩}=104$	$\text{♩}=84$	$\text{♩}=84$
	3	Menuetto	B:	$\frac{3}{4}$	26	$\text{♩}=120$	$\text{♩}=126$	$\text{♩}=126$	$\text{♩}=100$	$\text{♩}=112$
	4	Allegretto	B:	$\frac{2}{4}$	19	= -	$\text{♩}=76$	$\text{♩}=63$	$\text{♩}=82$	$\text{♩}=69$
26	1	Andante con Variazioni	As:	$\frac{3}{8}$	15	$\text{♩}=76$	$\text{♩}=80$	$\text{♩}=72$	$\text{♩}=65$	$\text{♩}=76$
	2	Allegro molto	As:	$\frac{3}{4}$	24	$\text{♩}=92$	$\text{♩}=88$	$\text{♩}=88$	$\text{♩}=112$	$\text{♩}=100$
	3	MARTIA FUNEBRE	as:	C	20	$\text{♩}=72$	$\text{♩}=66$	$\text{♩}=60$	$\text{♩}=52$	$\text{♩}=66$
	4	Allegro	As:	$\frac{2}{4}$	60	$\text{♩}=132$	$\text{♩}=120$	$\text{♩}=116$	$\text{♩}=160$	$\text{♩}=100$
27-1	1	Andante	Es:	♩	6	$\text{♩}=66$	$\text{♩}=69$	$\text{♩}=72$	$\text{♩}=72$	$\text{♩}=69$
		Allegro	C:	$\frac{6}{8}$	12	$\text{♩}=104$	$\text{♩}=104$	$\text{♩}=100$	$\text{♩}=108$	$\text{♩}=96$
	2	Allegro molto e vivace	c:	$\frac{3}{4}$	24	$\text{♩}=112$	$\text{♩}=120$	$\text{♩}=112$	$\text{♩}=132$	$\text{♩}=108$
	3	Adagio con espressione	As:	$\frac{3}{4}$	9	$\text{♩}=66$	$\text{♩}=72$	$\text{♩}=69$	$\text{♩}=63$	$\text{♩}=63$
	4	Allegro vivace	Es:	$\frac{2}{4}$	9	$\text{♩}=132$	$\text{♩}=132$	$\text{♩}=129$	$\text{♩}=138$	$\text{♩}=138$
27-2	1	Adagio sostenuto	cis:	♩	11	$\text{♩}=54$	$\text{♩}=60$	$\text{♩}=52$	$\text{♩}=63$	$\text{♩}=63$
	2	Allegretto	Des:	$\frac{3}{4}$	22	$\text{♩}=76$	$\text{♩}=80$	$\text{♩}=58$	$\text{♩}=63$	$\text{♩}=63$
	3	Presto agitato	cis:	C	12	$\text{♩}=80$	$\text{♩}=92$	$\text{♩}=88$	$\text{♩}=88$	$\text{♩}=80$
28	1	Allegro	D:	$\frac{3}{4}$	16	$\text{♩}=72$	$\text{♩}=72$	$\text{♩}=56$	$\text{♩}=66$	$\text{♩}=69$
	2	Andante	d:	$\frac{2}{4}$	12	$\text{♩}=84$	$\text{♩}=88$	$\text{♩}=80$	$\text{♩}=84$	$\text{♩}=76$

作品番号	楽章	速度標語	調性	拍子	速度差	チェルニー	ゾムロツク	ラモンド	シュナーベル	アラウ
28	3	Allegro vivace	D:	$\frac{3}{4}$	12	$\text{♩}=96$	$\text{♩}=100$	$\text{♩}=92$	$\text{♩}=104$	$\text{♩}=104$
	4	Allegro, ma non troppo	D:	$\frac{6}{8}$	8	$\text{♩}=88$	$\text{♩}=88$	$\text{♩}=84$	$\text{♩}=80$	$\text{♩}=80$
31-1	1	Allegro vivace	G:	$\frac{2}{4}$	22	$\text{♩}=72$	$\text{♩}=152$	$\text{♩}=72$	$\text{♩}=160$	$\text{♩}=152$
	2	Adagio grazioso	C:	$\frac{8}{9}$	22	$\text{♩}\simeq 116$	$\text{♩}\simeq 126$	$\text{♩}\simeq 120$	$\text{♩}\simeq 112$	$\text{♩}\simeq 104$
	3	Allegretto	G:	♩	12	$\text{♩}=96$	$\text{♩}=100$	$\text{♩}=88$	$\text{♩}=100$	$\text{♩}=100$
31-2	1	Largo	d:	♩	14	$\text{♩}=104$	$\text{♩}=50$	$\text{♩}=46$	$\text{♩}=60$	= -
		Allegro	d:	♩	12	= -	$\text{♩}=108$	$\text{♩}=120$	$\text{♩}=120$	$\text{♩}=120$
	2	Adagio	B:	$\frac{3}{4}$	8	$\text{♩}\simeq 84$	$\text{♩}\simeq 92$	$\text{♩}=44$	$\text{♩}=44$	$\text{♩}\simeq 84$
	3	Allegretto	d:	$\frac{3}{8}$	27	$\text{♩}\simeq 76$	$\text{♩}\simeq 88$	$\text{♩}=72$	$\text{♩}\simeq 69$	$\text{♩}\simeq 184$
31-3	1	Allegro	Es:	$\frac{3}{4}$	36	$\text{♩}=144$	$\text{♩}=152$	$\text{♩}=116$	$\text{♩}=116$	$\text{♩}=144$
	2	Allegretto vivace	As:	$\frac{2}{4}$	20	$\text{♩}=80$	$\text{♩}=88$	$\text{♩}=92$	$\text{♩}=100$	$\text{♩}=100$
	3	Moderato e grazioso	Es:	$\frac{3}{4}$	8	$\text{♩}=88$	$\text{♩}=96$	$\text{♩}=88$	$\text{♩}=96$	$\text{♩}=88$
	4	Presto con fuoco	Es:	$\frac{6}{8}$	8	$\text{♩}=100$	$\text{♩}=96$	$\text{♩}=184$	$\text{♩}=100$	$\text{♩}=100$
49-1	1	Andante	g:	$\frac{2}{4}$	12	= -	$\text{♩}=60$	$\text{♩}=72$	$\text{♩}=66$	$\text{♩}=69$
	2	Allegro	G:	$\frac{6}{8}$	56	= -	$\text{♩}=60$	$\text{♩}=108$	$\text{♩}=116$	$\text{♩}=108$
49-2	1	Allegro ma non troppo	G:	♩	24	= -	$\text{♩}=104$	$\text{♩}=80$	$\text{♩}=88$	$\text{♩}=80$
	2	Tempo di Menuetto	G:	$\frac{3}{4}$	16	= -	$\text{♩}=112$	$\text{♩}=108$	$\text{♩}=120$	$\text{♩}=104$
53	1	Allegro con brio	C:	♩	24	$\text{♩}=88$	$\text{♩}=88$	$\text{♩}=168$	$\text{♩}=176$	$\text{♩}=152$

作品番号	楽章	速度標語	調性	拍子	速度差	チェルニー	ツムロツク	ラモント	シュナーベル	アラウ
53	2	Adagio molto	F:	$\frac{6}{8}$	16	$\text{♩}=56$	$\text{♩}=60$	$\text{♩}=60$	$\text{♩}=44$	$\text{♩}=52$
	3	Allegretto moderato	C:	$\frac{2}{4}$	24	$\text{♩}=88$	$\text{♩}=100$	$\text{♩}=108$	$\text{♩}=112$	$\text{♩}=100$
54	1	In Tempo du'n Menuetto	F:	$\frac{3}{4}$	24	$\text{♩}=108$	$\text{♩}=120$	$\text{♩}=104$	$\text{♩}=104$	$\text{♩}=96$
	2	Allegretto	F:	$\frac{2}{4}$	36	$\text{♩}=144$	$\text{♩}=108$	$\text{♩}=141$	$\text{♩}=126$	$\text{♩}=116$
57	1	Allegro assai	f:	$\frac{12}{8}$	18	$\text{♩}=108$	$\text{♩}=120$	$\text{♩}=126$	$\text{♩}=120$	$\text{♩}=108$
	2	Andante con moto	Des:	$\frac{2}{4}$	16	$\text{♩}=108$	$\text{♩}=112$	$\text{♩}=104$	$\text{♩}=96$	$\text{♩}=104$
	3	Allegro ma non troppo	f:	$\frac{2}{4}$	20	$\text{♩}=132$	$\text{♩}=144$	$\text{♩}=135$	$\text{♩}=152$	$\text{♩}=138$
78	1	Adagio cantabile	Fis:	$\frac{2}{4}$	13	$\text{♩}=72$	$\text{♩}=76$	$\text{♩}=72$	$\text{♩}=63$	$\text{♩}=69$
		Allegro ma non troppo	Fis:	C	22	$\text{♩}=116$	$\text{♩}=138$	$\text{♩}=63$	$\text{♩}=63$	$\text{♩}=63$
	2	Allegro vivace	Fis:	$\frac{2}{4}$	20	$\text{♩}=132$	$\text{♩}=132$	$\text{♩}=138$	$\text{♩}=152$	$\text{♩}=138$
79	1	Presto alla tedesca	G:	$\frac{3}{4}$	16	= -	$\text{♩}=84$	$\text{♩}=88$	$\text{♩}=96$	$\text{♩}=80$
	2	Andante	g:	$\frac{9}{8}$	16	= -	$\text{♩}=56$	$\text{♩}=56$	$\text{♩}=120$	$\text{♩}=52$
	3	Vivace	G:	$\frac{2}{4}$	72	= -	$\text{♩}=138$	$\text{♩}=132$	$\text{♩}=84$	$\text{♩}=72$
81a	1	Adagio	Es:	$\frac{2}{4}$	22	$\text{♩}=63$	$\text{♩}=72$	$\text{♩}=60$	$\text{♩}=50$	$\text{♩}=56$
		Allegro	Es:	C	18	$\text{♩}=112$	$\text{♩}=126$	$\text{♩}=120$	$\text{♩}=108$	$\text{♩}=116$
	2	Andante espressivo	c:	$\frac{2}{4}$	6	$\text{♩}=72$	$\text{♩}=72$	$\text{♩}=72$	$\text{♩}=66$	$\text{♩}=69$
	3	Vivacissimamente	Es:	$\frac{6}{8}$	12	$\text{♩}=108$	$\text{♩}=108$	$\text{♩}=110$	$\text{♩}=120$	$\text{♩}=108$
90	1	Mit Lebhaftigkeit...	e:	$\frac{3}{4}$	52	$\text{♩}=160$	$\text{♩}=66$	$\text{♩}=156$	$\text{♩}=148$	$\text{♩}=168$

作品番号	楽章	速度標語	調性	拍子	速度差	チェルニー	シムロツク	ラモント	シュナーベル	アラウ
90	2	Nicht zugeschwind	E:	$\frac{2}{4}$	16	$\text{♩}=88$	$\text{♩}=96$	$\text{♩}=84$	$\text{♩}=84$	$\text{♩}=80$
101	1	Allegretto ma non troppo	A:	$\frac{6}{8}$	10	$\text{♩}=72$	$\text{♩}=72$	$\text{♩}=73$	$\text{♩}=63$	$\text{♩}=66$
	2	Vivace alla Marcia	F:	C	28	$\text{♩}=72$	$\text{♩}=132$	$\text{♩}=80$	$\text{♩}=152$	$\text{♩}=160$
	3	Adagio, ma non troppo	a:	$\frac{2}{4}$	14	$\text{♩}=60$	$\text{♩}=60$	$\text{♩}=58$	$\text{♩}=46$	$\text{♩}=50$
		Allegro	A:	$\frac{2}{4}$	12	$\text{♩}=132$	$\text{♩}=132$	$\text{♩}=120$	$\text{♩}=63$	$\text{♩}=132$
106	1	Allegro	B:	♩	26	$\text{♩}=138$	$\text{♩}=138$	$\text{♩}=138$	$\text{♩}=138$	$\text{♩}=112$
	2	Assai vivace	B:	$\frac{3}{4}$	8	$\text{♩}=80$	$\text{♩}=80$	$\text{♩}=80$	$\text{♩}=80$	$\text{♩}=72$
	3	Adagio sostenuto	fis:	$\frac{6}{8}$	0	$\text{♩}=92$	$\text{♩}=92$	$\text{♩}=92$	$\text{♩}=92$	$\text{♩}=92$
	4	Largo	B:	C	0	= -	= -	$\text{♩}=76$	$\text{♩}=76$	$\text{♩}=76$
		Allegro risoluto	B:	$\frac{3}{4}$	0	= -	= -	$\text{♩}=144$	$\text{♩}=144$	$\text{♩}=144$
109	1	Vivace, ma non troppo	E:	$\frac{2}{4}$	16	$\text{♩}=100$	$\text{♩}=112$	$\text{♩}=116$	$\text{♩}=116$	$\text{♩}=116$
		Adagio espressivo	E:	$\frac{3}{4}$	6	$\text{♩}=66$	$\text{♩}=63$	$\text{♩}=63$	$\text{♩}=60$	$\text{♩}=66$
	2	Prestissimo	e:	$\frac{6}{8}$	10	$\text{♩}=80$	$\text{♩}=160$	$\text{♩}=84$	$\text{♩}=90$	$\text{♩}=84$
	3	Andante molto cantabile	E:	$\frac{3}{4}$	10	$\text{♩}=63$	$\text{♩}=66$	$\text{♩}=60$	$\text{♩}=58$	$\text{♩}=56$
110	1	Moderato cantabile	As:	$\frac{3}{4}$	13	$\text{♩}=76$	$\text{♩}=63$	$\text{♩}=69$	$\text{♩}=63$	$\text{♩}=63$
	2	Allegro molto	f:	$\frac{2}{4}$	32	$\text{♩}=120$	$\text{♩}=112$	$\text{♩}=126$	$\text{♩}=144$	$\text{♩}=120$
	3	Adagio ma non troppo	b:	C	9	$\text{♩}=66$	$\text{♩}=69$	$\text{♩}=63$	$\text{♩}=66$	$\text{♩}=60$
		Allegro ma non troppo	As:	$\frac{6}{8}$	31	$\text{♩}=100$	$\text{♩}=92$	$\text{♩}=69$	$\text{♩}=84$	$\text{♩}=80$

作品番号	楽章	速度標語	調性	拍子	速度差	チェルニー	ジムロック	ラモンド	シュナーベル	アラウ
111	1	Maestoso	c:	C	4	$\text{♩}=108$	$\text{♩}=56$	$\text{♩}=52$	$\text{♩}=53$	$\text{♩}=108$
		Allegro con brio	c:	C	12	$\text{♩}=132$	$\text{♩}=126$	$\text{♩}=66$	$\text{♩}=69$	$\text{♩}=126$
	2	Adagio molto semplice	C:	$\frac{9}{16}$	15	$\text{♩}=63$	$\text{♩}=60$	$\text{♩}=48$	$\text{♩}=49$	$\text{♩}=48$

この中で、速度標語の数を調べると、Adagio が6つで最も多く、次にAndante, そして Largo, Allegro が1つずつある。

これらのことからみると、Allegro 等の速い速度標語の方が速度差が開くことが認められる。ここでチェルニーのテンポについて触れておきたい。

チェルニー練習曲などで、彼のテンポが速すぎることはよく指摘される場所であるが、ベートーヴェンのピアノソナタにおいてはどうかであろうか。

表1から各楽章で一番速いメトロノーム記号をつけている演奏者について調べてみた。その結果、ジムロックが53の楽章に一番速いメトロノーム記号をつけており、2番目がシュナーベルの50、3番がチェルニーで17であった。これをみてもチェルニーのテンポ速さは認められる。ではなぜ、それほど速いテンポを示したのであろうか。

1つには、当時の楽器の特徴があげられる。当時のピアノは現在のものよりも鍵盤が軽かったし幅も狭く、また、打鍵の深さも浅かった。だから速いテンポでも演奏が可能であった。

もう1つには、昔の演奏はテンポが遅かった、という感じ方は現代人が勝手に発明したものであって当時のテンポはそんなに遅くはなかった、ということからくるものがある。

では、ベートーヴェンは自分自身でどのようにテンポを感じていたのであろうか。ピアノソナタの中で彼が唯一テンポを記したものに作品106がある。

第1楽章 $\text{♩}=138$ 、第2楽章 $\text{♩}=80$ 、第3楽章 $\text{♩}=92$ 、第4楽章 $\text{♩}=76$ 、 $\text{♩}=144$ 、である。

オリジナルのテンポ、ということであろうか、アラウ以外はこのテンポを採択している。しかし、第1楽章のテンポは速すぎる。

モシュレスは次のように言っている。「私の版では第1楽章が $\text{♩}=138$ となっていますが、これはベートーヴェン自身に基づくものであります。もっとも、かれは ♩ を単位に、私は ♩ を単位に数えますが、私の考えでは両方ともこの曲の性格に一致しません。 ♩ では、おそらくベートーヴェン自身ですら想像もしなかったような恐ろしいほどのプレスティモになり、また ♩ では逆に全体がゆっくりした感じになってしまうので、私は大家への尊敬の意味で、オリジナルのテンポを残しはしましたが、実際には両者の中間 $\text{♩}=116$ としたいのです。」^(註9)

② 速度標語や発想記号とメトロノーム記号の関連性について

Allegro や Adagio といった速度標語は、速度についてどれほどの目安になるのであろうか。この項ではベートーヴェンのピアノソナタに記されている速度標語について考察を進めて

みたいと思う。なお、速度標語は速度記号とも呼ばれるが、ここではメトロノーム記号と区別するために速度標語の呼び方を採用した。

普通我々は速度標語をその曲の速さの目安としている。しかし、それだけでは本当にその標語を正しく把握しているとは言えないようである。

そこで、表1において最も主要な標語を、本来の意味と音楽上で使われている場合を比較してみる。本来の意味は小学館の伊和中辞典によるもの。音楽上の意味は音楽の友社刊標準音楽辞典によるものである。

Presto

伊和中辞典：やがて、すぐに、早く、容易に、たやすく

標準音楽辞典：きわめて速く、Allegroより更にはやい速度

Vivace

伊和中辞典：活発な、元気のよい、回転の速い、鋭い、生き生きとした、鮮明な

標準音楽辞典：はやく、生き生きと

Allegro

伊和中辞典：陽気な、快活な、楽しい、明るい、みだらな、のんきな

PrestoとAllegrettoの中間速度

標準音楽辞典：快速に

Allegretto

伊和中辞典：やや快速な調子、AllegroとAndanteの中間の速度

標準音楽辞典：AllegroとAndanteの中間の速度

Moderato

伊和中辞典：ほどよい、手ごろな、穏和な、控えめな

標準音楽辞典：中庸の速さでAndanteとAllegroとの中間の速度

Andante

伊和中辞典：平凡な、並の、できの悪い、気どらない、Andare（歩く）の現在分子

標準音楽辞典：〈歩く Andare〉から出た語で、AllegrettoとAdagioの中間の速度をいう。

Andanteがはやい速度に属するか、おそい速度に属するかについては意見が一致していない。

Adagio

伊和中辞典：ゆっくりと、静かに、注意深く、慎重に、

標準音楽辞典：〈心地よい〉の意味から出た語でAndanteとLargoのあいだのおそい速度

Largo

伊和中辞典：幅のある、広い、大きい、ゆったりした、豊かな、

標準音楽辞典：非常にゆっくりした速度で、同時に〈表情豊かに〉

Grave

伊和中辞典：重大な、ゆゆしい、重い、重厚な、厳粛な、荘重な

標準音楽辞典：荘重に、ゆっくりと

この中から、表1において、一番多く使われている標語のAllegroについて述べてみる。

単に速さを示す「快速に」のイメージと、「陽気な」「楽しい」となるとイメージがだいぶ広がってくる。更に、「みだらな」「のんきな」という意味まで入ると、メトロノーム記号では表わせないところまで来てしまう。ルッソーによると「楽しさとは関係のない、憤怒や絶望のほとばしりを表わすこともある。」と言う。^(注10)

このようにみると、Allegroひとつみてもいろいろな発想が含まれている。演奏に際しては、速度標語の持つ発想を表現するのにどのようなテンポがふさわしいのか、という見方を忘れてはいけないのである。

IV. 考察のまとめ

この論文を書くきっかけになったのは、ランドフスカの論集の中に「古い音楽のテンポは遅くない。」という一文を読んだことにあった。はたしてベートーヴェンのテンポはどのようなのだろう、という疑問が起こり考察する次第となった。

本論の「はじめに」で提起した3つの課題に対して考察を進めてきたが、その中で最も問題となったのはチェルニーのメトロノーム記号であった。「速すぎる」テンポがある半面「遅すぎる」テンポもみられた。ベートーヴェンの生徒であったチェルニーは、ベートーヴェンのテンポを熟知していたはずである。作品106で考察したように、ベートーヴェンのテンポは速かったのだと思う。彼の内面に宿っているほとばしる情熱がそのテンポに現れていたのであろう。後期の作品には速度標語と共に発想用語が書かれていることが多い。作品90は発想用語のみしか記されていない。このことからみても速度標語や発想用語とテンポの関係を推し量っていくことが演奏上きわめて大事なことになってくると思う。

表1に関しては今回の考察に終わらずに拍子や調性との関連性などについても、更に考察を深めていきたいと思っている。

引用文献

(注1) H. M. ミラー著 音楽史 東海大学出版会 昭和43年 P.72-73

(注2) J. J. クヴァンツ著 フルート奏法試論 シンフォニア 1992年 P.246 §46

(注3) 同上

(注4) 同上 §47

(注5) 同上 P.248 §51

(注6) 同上 P.246 §48

(注7) G. フロッチャー著 バロック音楽の演奏習慣 シンフォニア 昭和53年 P.49

(注8) カール・チェルニー著 ベートーヴェン全ピアノ作品の正しい奏法 全音楽譜出版社

(注9) 同上 P.183

(注10) 前掲(注7) P.52

メトロノーム記号は次の楽譜から引用している。

BEETHOVEN SONATEN Frederic Lamond EDITION BREITKOPF

32 SONATAS FOR THE PIANOFORTE LUDWIG VAN BEETHOVEN ARTUR

SHUNABEL SIMON AND SCHUSTER

BEETHOVEN SONATEN CLAUDIO ARRAU EDITION PETERS